



足寄町立足寄小学校 学校便り (第 242号)

令和6年10月31日(木)

大地



足寄町立足寄小学校
電話 25-2114
FAX 25-4904
発行者: 大宮 秀夫
編集者: 橋本 健

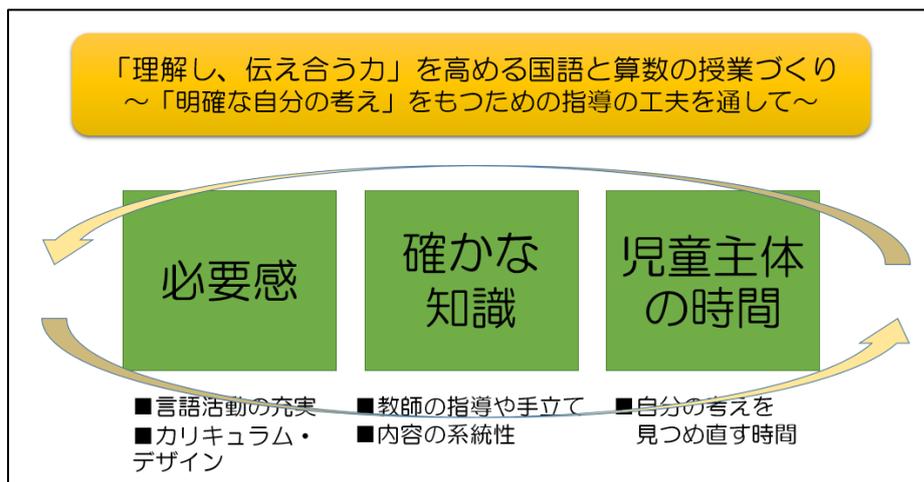
足寄小学校「あ・い・う・え・お」あいさつ 一生けん命 美しい学校 えがお 思いやり

自分の思いや考えを表現できる子どもの育成

校長 大宮 秀夫

足寄小学校では「**理解し、伝え合う力**」を高める国語と算数の授業づくり」という主題の下、全職員で共同研究に取り組んでいます。主題にある子どもを育てるために、子ども一人一人が安心して授業に参加できる学習環境を基盤に、教科の目標や指導事項を押さえつつ国語や算数の授業展開を工夫していこうというものです。本校が、日々の授業で目指していることは以下のとおりです。

- ①自分の考えを明確にもつ
- ②伝え合う力の育成



③基盤となる学習環境づくり

「多様な意見を肯定的に受け止める」「友だちのよさと自分との違いに気づくことができる」「自己選択・自己決定の場の設定」「共感的人間関係」「自己肯定感・好奇心の育成」など

④ICT～1人1台端末の有効活用

「効果的なICTの活用」「タブレット端末の持ち帰り」など

学校生活の大半は授業です。「授業が楽しい、わかる、ためになる」と子どもたちに感じてもらえるよう、専門職として、授業力を身に付けられるよう日々研修に励んでまいります。

ユーチューブ配信中!

学習発表会 10月17日・18日の2日間に分けて各学年の発表を見ていただきました。どの学年も子どもたちの頑張りが光った素晴らしい発表でした。ご参観いただきました皆様、本当にありがとうございました。11月15日まで、保護者・期間限定でユーチューブにて配信しています。すでに配布済みのプリントにてお知らせしていますが、視聴方法等の質問があれば、遠慮なく学校(25-2114)へご連絡ください。

全国学力・学習状況調査は、文部科学省が実施する全国規模の学力調査です。この調査は、小学6年生と中学3年生を対象に毎年4月に行われ、その目的は次の通りです。

- ・ **学力の把握**：全国の児童生徒の学力や学習状況を把握し、教育施策の成果と課題を検証します。
- ・ **教育指導の充実**：学校における教育指導の改善や学習状況の向上に役立てます。

また、この調査は、教育の質を向上させるための重要なデータを提供し、教育政策の改善に役立てられています。

- ・ **教科に関する調査**：国語、算数、理科（3年に1度）。
- ・ **生活習慣や学校環境に関する質問紙調査**：児童生徒や学校に対する調査も同日に実施されます。

令和6年度全国学力・学習状況調査 調査結果に関する北海道教育委員会教育長コメント

- 本道の状況は、全ての教科で平均正答率が全国平均に達していないものの、中学校の国語は全国平均とほぼ同水準で、小学校の国語及び中学校の数学では全国平均との差が縮まるといった改善傾向が見られており、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善など、これまでの各市町村教育委員会や各学校が一体となった取組により一定の成果が現れてきているものと考えます。一方で、小学校の算数では全国平均との差が広がっており、学校全体での検証改善サイクルの更なる充実に向けた取組が必要と考えています。
- 道教委では、今後も、新しい時代に生きる子どもたちに必要となる資質・能力を確実に育むため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実や、望ましい学習・生活習慣の確立など、学校、家庭、地域、行政が一体となった取組を進めてまいります。教育関係者や保護者の方々のもとより、広く道民の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

足寄小学校では、この調査結果に基づき、全国・全道との比較において本校児童の学力の傾向や学習、生活の状況を分析し、学習指導改善や学力向上に努めてまいります。

《調査の概要》

◆調査内容

○ 教科に関する調査〔国語、算数・数学〕 次の①と②を一体的に問う調査問題

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

○ 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

- ① 児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）
- ② 学校に対する調査（指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査）

◆◆ 教科に関する調査結果より ～全国・全道平均と比べると～ ◆◆

国語～どの領域も、ほぼ全国・全道平均と同じ水準～

※「我が国の言語文化に関する事項」が特に優れている。

算数～全体として、全国・全道平均よりやや下回っています。

※ 「思考力・判断力・表現力」、「データの活用」で課題がみられる。

■生活習慣や学習環境に関する児童質問紙調査結果

(数値は「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」を選択した児童数の割合)

	本年度数値			全道との差	全国との差
	足寄小	全道	全国		
○将来の夢や目標を持っている。	88.6	81.6	82.4	+6.7	+5.6
○人の役に立つ人間になりたい。	100.0	96.0	95.9	+4.0	+4.1
学校に行くのは楽しい	82.8	81.8	84.8	+1.0	-2.0
友達関係に満足している	91.4	89.5	91.1	+1.9	+0.3
●普段の生活の中で幸せな気持ちになる	85.7	90.9	91.7	-5.2	-6.0
○平日、テレビ（携帯）ゲームは1日1時間以下	31.4	20.6	25.7	+10.8	+5.7
平日、SNSや動画視聴は1日1時間以下	45.7	32.9	49.0	+12.8	-3.3
●平日、家庭で1日1時間以上勉強している	37.2	52.4	54.6	-15.2	-17.4

【全国と比較して】

○将来の夢や目標をしっかりと持っている子供が多いです。また、人の役に立つ人間になりたいと思っている子供が多いです。

●普段の生活の中で幸せな気持ちになる子供がやや少ないですが、「幸せ」を意識することが少ないのかもしれませんが、学校では、「満足感」や「充実感」、「楽しい経験」を味わえる機会を増やしていきます。

△ゲームや動画視聴等の時間は、全道・全国平均に比べると短いようです。けれども、1日3時間以上のヘビーユーザーは、ゲームが40.0%、動画等が34.3%と多いです。

●ご家庭で、1日1時間以上勉強する子どもの割合が少ないです。平日は学習や読書の時間をまずは確保して、ゲームや動画視聴は息抜き程度にしていけるといいですね。

【学力向上に向けて足寄小で、主として取り組んでいること】

- 学習者主体の授業（多様な仲間と協働しながら、新しい価値を生み出し、持続可能な社会と幸福な人生のづくり手となる力の育成）
- 指導方法の工夫・改善（習熟度別少人数指導、専科制等）
- ユニバーサルデザインの視点を取り入れた、学習に集中できる環境づくり
- 学習支援員と連携した、複数の目によるきめ細かな学習指導
- 学習意欲の喚起（あたたか、その気にさせる）
- ICT《情報機器》の積極的な活用（たくさん使う）

学習発表会 ご観覧ありがとうございました

10月17日(木)、18日(金)は、足寄小学校の学習発表会でした。学年ごとの発表でしたので、お子さんがたくさんいるご家庭には何度も足を運んでいただくことになりお手数をおかけしましたが、どの学年もすばらしい発表となり、たくさんの拍手をいただきました。誠にありがとうございました。



1年生 器楽・合唱・器械運動
「みんながスター!きらきら1年生」



2年生 劇
「アイウエオリババ」



3年生 器楽・合唱・スライド
「成長を伝えよう」



4年生 劇
「寿限無(じゅげむ)」



5年生 器楽・合唱・CM
「MUSIC STATION
～足寄小学校スペシャル」



6年生 劇
「えんとつ町のペペル」

さぐろうアイヌのくらし

4年生は総合的な学習の時間に、アイヌの伝統や文化について学習しています。10月3日(木)は帯広百年記念館におじゃまして、学芸員の方からアイヌの生活などについて説明をもらったり、貴重な昔の史料を見学したりしました。翌週の7日(月)には、アイヌ民族アドバイザーの方々にご来校いただき、アイヌ文化について教えていただくとともに、アイヌ文様の切り絵を作るという、とても貴重な体験を行いました。

自然と共生していたアイヌの人たちの生活を学ぶことで、持続可能な社会を生きていくためのヒントをいただいた、4年生たちでした。



主な行事

- 1日(金) 交通安全の日・挨拶いっぱい運動
視力検査(高)
- 3日(日) 文化の日
町文化賞・スポーツ賞表彰式
- 4日(月) 振替休日
- 5日(火) 校外巡視
- 6日(水) 職員会議
- 7日(木) 主任児童委員学校訪問
- 8日(金) 読み聞かせ(2年)
- 11日(月) 租税教室(6年)
- 13日(水) 道徳推進事業(5年)
- 15日(金) 情報モラル授業(3~6年)
- 20日(水) 町教育研究大会(大誉地小)
- 22日(金) 教育委員学校訪問
- 23日(木) 勤労感謝の日
- 27日(水) 移動図書
ファイターズ選手交流会